



菊島 靖弘

株式会社 I N E S / 独立行政法人 情報処理推進機構

金融システム事業部 / 技術本部 ソフトウェア・エンジニアリング・センター

フェロー / リサーチフェロー

政府システム開発における超上流品質改善

プロフィール

1975年東京海上火災保険入社、30年にわたりIT部門にて損害保険、生命保険、年金システムの開発に携わる。2008年から人事院CIO補佐官として政府人事・給与システムの開発に参加、現在(株)INES金融事業部フェロー。著書に「プロジェクトレビュー」(翔泳社)、「共通フレーム2007」(オーム社, SEC BOOKS、共同編著)、「経営者が参画する要求品質の確保」(オーム社, SEC BOOKS、共著)、「COBRA法入門」(オーム社、共著)他。

現在、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)技術本部ソフトウェア・エンジニアリング・センター(SEC)のリサーチフェローを務める。

講演概要

「動かないコンピュータ」の記事を幾度となく賑わした政府「人事給与システム」。現在「人事給与システム」は4府省で本番稼働に入り、大規模府省における稼働を目指して移行作業が行われている。プロジェクトの再開に参加し、各府省担当者による業務、事務要件定義、バリデーションを実現するための各府省ユーザーも参加した体系的なテストケースの策定、納入システムの品質を上げるための各府省担当者も参加したユーザーテストの実施等、数々の施策を実施することで、政府業務系システムの本番稼働を実現した軌跡を振り返る。情報システムを開発する目的は、情報システムの取得ではなく、情報システムが実現する世界の取得である。的外れなシステムを作ることにならないための超上流からの施策をお伝えする。